

公立大学法人金沢美術工芸大学
平成25年度 業務実績評価書

平成26年 8月

金沢市公立大学法人評価委員会

目次

I	評価方法.....	1
1	評価の構成.....	1
2	項目別評価.....	1
	ア 法人による自己評価	
	イ 評価委員会による評価	
3	全体評価.....	2
II	評価結果.....	3
1	全体評価.....	3
2	項目別評価.....	4～8
	1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）	
	2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）	
	3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）	
	4 業務運営の改善及び効率化に関する目標	
	5 財務内容の改善に関する目標	
	6 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	
	7 その他業務運営に関する重要目標	

I 評価方法

1 評価の構成

「項目別評価」及び「全体評価」による。

2 項目別評価

ア 法人による自己評価

法人が作成した年度計画の最小単位の項目（以下「小項目」という。）ごとに、法人自らが、その進捗状況を次の4段階の評価区分により、判断理由を付して評価する。

※ 年度計画の大項目第6から第10に関しては業務実績のみを記載

【評価基準】

評価区分	評価内容
Ⅳ	年度計画を上回って実施している。
Ⅲ	年度計画を十分に実施している。
Ⅱ	年度計画を十分には実施していない。
Ⅰ	年度計画を実施していない。

イ 評価委員会による評価

(7) 評価委員会は、法人が行った自己評価の結果について妥当性を確認し、法人と評価の結果が異なる場合は、評価が異なる理由を示すものとする。

(イ) 評価委員会は、(7)の評価結果を踏まえ、法人の業務実績を総合的に検証し、中期目標の次の大項目（大学の教育研究等の質の向上に関する目標については、中項目）ごとに、その進捗状況を次の5段階の評価区分により評価するとともに、特筆すべき事項や改善が望まれる事項についてコメントを付す。

年度計画	大項目（中項目）
第1	① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （教育に関する目標）
	② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （研究に関する目標）
	③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （その他の目標）
第2	④ 業務運営の改善及び効率化に関する目標
第3	⑤ 財務内容の改善に関する目標
第4	⑥ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標
第5	⑦ その他業務運営に関する重要目標

※（ ）内は中項目

【評価基準】

評価区分	評価内容
S	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある
	※ 評価委員会が特に認める場合
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価が全てⅣまたはⅢ(注)
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割以上(注)
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割未満(注)
D	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある
	※ 評価委員会が特に認める場合

(注)評価区分は目安であり、社会情勢等の変化による進捗の遅れや、小項目の比重を考慮して評価委員会で判断

3 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について記述式により評価する。なお、評価を通じて得られた大学運営に関する課題や改善事項等についても、併せて記載するものとする。

また、評価制度が大学運営の検証という役割に加えて、大学の活動状況を市民に公表する役割も担っていることから、大学の特色ある取り組みや工夫等については、積極的に評価するものとする。

Ⅱ 評価結果

□ 全体評価

年度計画に定めた全ての項目が着実に実施されており、項目別評価においても全項目がA評価（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

公立大学法人への移行後4年目となった平成25年度は、業務内容を充実させるために積極的に取り組む姿勢が随所に見受けられた。

以下に、大学の特色ある取組や工夫等として評価できるものを挙げる。

- ・ 研究の質の向上に関しては、研究拠点と発表の場として「金沢美術工芸大学柳宗理記念デザイン研究所」を開設し、金沢美大への寄託資料である柳宗理デザイン関連資料の目録情報の整備等を行い、個性ある研究活動を積極的に推進したこと。
- ・ 教育の質の向上に関しては、教育プログラムとして有効な産学・地域連携事業を通じ、実社会の課題を経験する実践的な教育を行うとともに、大学生活全般に関する学生の相談指導体制をより強化し、教員に対する研修と同様に職員に対する研修も積極的に行ったこと。
- ・ 社会連携に関しては、これまでの研究成果を発表する「平成の百工比照－美大があつめたものづくりの技と意匠」展の開催や金沢市立図書館での小中学生等を対象としたワークショップ及び引き続き金沢市立病院との連携事業である「ホスピタリティ・アート・プロジェクト」を実施することにより教育研究成果を社会に還元したこと。
- ・ その他業務運営に関しては、「問屋まちスタジオ」で協同組合金沢問屋センターとの連携事業を通じて学生・卒業生等の活動を支援し、実践教育を行ったこと。

□ 項目別評価

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 56 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している。）が 3 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 53 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 各専攻の教育方針に加えて大学全体の教育目標とカリキュラム改編に応じた学位授与方針を策定し、大学ホームページを通じ広く公表したこと。
- ・ 教育的効果が期待できる産学・地域連携事業の中で、金沢の水パッケージの「春」「夏」バージョンの追加デザインが商品化されるなど、実社会の活動を通して実践的な教育を推進したこと。
- ・ 金沢の文化や環境など地域特性を活かした工房教育を発展させるため、新たに「造形表現工房Ⅳ(素材・技術/素材技術研究)」を開講したこと。
- ・ 積極的な学生募集活動を展開するため、新たに熊本における芸術系進学相談会への参加や北海道からの高校修学旅行生の新規受入れ、体験授業を行ったこと。
- ・ 情報メディアを活用した授業等を展開するため、本館棟のデザイン科、美術科及び修士デザインコース計 25 教室に無線 LAN アクセスポイント（中継局）を設置したこと。

2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 15 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している。）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 14 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 引き続き金沢市制 120 周年事業の一つである「平成の百工比照」収集作製事業を行った。さらに、これまでの研究成果を発表するため「平成の百工比照－美大があつめたものづくりの技と意匠」展を初めて開催したこと。
- ・ 研究拠点と発表の場として「金沢美術工芸大学柳宗理記念デザイン研究所」を開設し、柳宗理デザイン関連資料の目録情報の整備等、故柳宗理氏の業績調査研究を深めたこと。
- ・ 世界に通じる芸術の研究拠点とするため、ブータン王国から工芸振興事業を担当するオフィサーやマレーシアから国立デザインセンターデザイン室長の受入れを行った。さらに、ミャンマー国立漆芸技術大学及びミャンマー国立サウンダー染織大学で教員が講演会及びワークショップを実施し、伝統的技術の共有と人的ネットワークの構築を図ったこと。
- ・ 教員が研究に取り組むための柔軟な研究環境を整えるとともに負担の適正化を図るために教員評価制度を新たに策定したこと。

3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 24 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している。）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 23 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 平成 27 年の北陸新幹線金沢開業を控え首都圏等からの誘客を強化するための観光商談会のために PR ツールを提案・制作するなど、教育研究成果を積極的に社会に還元したこと。
- ・ 産学連携・地域連携事業の一環として、商品化されたアイテムや学生が企画した美大アイテムを大阪中之島デザインミュージアムにおいて展示・公開し、社会連携事業について発信したこと。
- ・ 金沢市立病院において、「ホスピタリティ・アート・プロジェクト」を継続実施し、新たにアンケートを通して調査研究を行った。また、金沢大学附属病院渡り廊下ドライエリアの景観整備についての調査研究及びモニュメントの制作を通して他大学との連携を図り、金沢美大の知的資源の特性を生かしたこと。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 12 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 大学運営や教育研究活動を効果的かつ効率的に推進するため、平成 25 年度に事務職員 2 名を採用するとともに、平成 26 年度採用予定事務職員 1 名を公募するなど、平成 22 年度に策定した法人職員採用計画を着実に実施したこと。

5 財務内容の改善に関する目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 12 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 文部科学省科学研究費補助金の公募に 8 件の申請を行った。また、大学の知的資産を活かした産学連携事業を積極的に推進し、49 件 30,122 千円の外部資金を確保し、財政基盤の強化を図ったこと。
- ・ より広く寄附金を募るために教育研究基金の専用サイトを大学ホームページ上に公開したこと。

6 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
----	-------------------------------

年度計画記載の8の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 自己点検・評価の体制強化を図るために、自己点検・評価実施運営会議の委員を増員し、過去5年間の実績を検証して自己点検・評価報告書を作成したこと。

7 その他業務運営に関する重要目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
----	-------------------------------

年度計画記載の16の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 「問屋まちスタジオ」において、協同組合金沢問屋センターとの連携事業による「金沢問屋アートフェア」を開催し、アートマネージメントの実践教育の場としたこと。